

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 7 月 26 日 (2021.7.26)

【公開番号】特開 2019-154730 (P2019-154730A)

【公開日】令和 1 年 9 月 19 日 (2019.9.19)

【年通号数】公開・登録公報 2019-038

【出願番号】特願 2018-44706 (P2018-44706)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 6 F

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 5 月 26 日 (2021.5.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

各々が識別可能な複数種類の識別情報を変動表示可能な可変表示部を備え、

前記可変表示部の変動表示を停止することで表示結果を導出し、該表示結果に応じて入賞が発生可能なスロットマシンにおいて、

表示結果が導出される前に、導出が許容される表示結果を決定する事前決定手段と、

遊技者が表示結果を導出させるために操作する導出操作手段と、

前記表示結果を導出する制御を行う導出制御手段と、

前記事前決定手段により特別状態への移行を伴う特別表示結果の導出が許容される特別決定結果となり、前記特別表示結果が導出されなかったときに、当該特別決定結果を次ゲーム以降に持ち越す持越手段と、

前記事前決定手段の決定結果が特定結果となったときに遊技者にとって有利な前記導出操作手段の操作態様を報知可能な報知手段と、

前記報知手段により遊技者にとって有利な前記導出操作手段の操作態様を報知させることが可能な有利区間に制御する有利区間制御手段と、

前記有利区間に制御されている旨を示唆する有利区間示唆を実行可能な有利区間示唆手段と、

前記持越手段により前記特別決定結果が持ち越されている持越状態となった旨を示唆する持越状態示唆を実行可能な持越状態示唆手段と、

を備え、

前記持越状態において遊技用価値の増減率が適正值となるが、前記持越手段により前記特別決定結果が持ち越されていない非持越状態において遊技用価値の増減率が適正值とならず、

前記有利区間制御手段は、前記持越状態及び前記非持越状態のいずれにおいても前記有利区間に制御可能であり、

前記非持越状態において前記有利区間に制御された場合には前記有利区間示唆が実行されないが、前記非持越状態から前記持越状態に移行した場合には前記持越状態示唆が実行される、スロットマシン。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 8

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 8 】

上記課題を解決するために、本発明の請求項 1 のスロットマシンは、

各々が識別可能な複数種類の識別情報を変動表示可能な可変表示部を備え、

前記可変表示部の変動表示を停止することで表示結果を導出し、該表示結果に応じて入賞が発生可能なスロットマシンにおいて、

表示結果が導出される前に、導出が許容される表示結果を決定する事前決定手段と、

遊技者が表示結果を導出させるために操作する導出操作手段と、

前記表示結果を導出する制御を行う導出制御手段と、

前記事前決定手段により特別状態への移行を伴う特別表示結果の導出が許容される特別決定結果となり、前記特別表示結果が導出されなかったときに、当該特別決定結果を次ゲーム以降に持ち越す持越手段と、

前記事前決定手段の決定結果が特定結果となったときに遊技者にとって有利な前記導出操作手段の操作態様を報知可能な報知手段と、

前記報知手段により遊技者にとって有利な前記導出操作手段の操作態様を報知させることが可能な有利区間に制御する有利区間制御手段と、

前記有利区間に制御されている旨を示唆する有利区間示唆を実行可能な有利区間示唆手段と、

前記持越手段により前記特別決定結果が持ち越されている持越状態となった旨を示唆する持越状態示唆を実行可能な持越状態示唆手段と、

を備え、

前記持越状態において遊技用価値の増減率が適正值となるが、前記持越手段により前記特別決定結果が持ち越されていない非持越状態において遊技用価値の増減率が適正值とならず、

前記有利区間制御手段は、前記持越状態及び前記非持越状態のいずれにおいても前記有利区間に制御可能であり、

前記非持越状態において前記有利区間に制御された場合には前記有利区間示唆が実行されないが、前記非持越状態から前記持越状態に移行した場合には前記持越状態示唆が実行される

ことを特徴としている。

本発明の手段 1 のスロットマシンは、

各々が識別可能な複数種類の識別情報（図柄）を変動表示可能な可変表示部（リール 2 L、2 C、2 R）を備え、

前記可変表示部の変動表示を停止することで表示結果を導出し、該表示結果に応じて入賞が発生可能なスロットマシン（スロットマシン 1）において、

表示結果が導出される前に、導出が許容される表示結果を決定する事前決定手段（内部抽選）と、

遊技者が表示結果を導出させるために操作する導出操作手段（ストップスイッチ 8 L、8 C、8 R）と、

前記表示結果を導出する制御を行う導出制御手段（メイン制御部 4 1）と、

前記事前決定手段により特別状態への移行を伴う特別表示結果（特別役（BB）の図柄組合せ）の導出が許容される特別決定結果（特別役（BB））となり、前記特別表示結果が導出されなかったときに、当該特別決定結果を次ゲーム以降に持ち越す持越手段と、

前記事前決定手段の決定結果が特定結果（押し順小役）となったときに遊技者にとって有利な前記導出操作手段（ストップスイッチ 8 L、8 C、8 R）の操作態様（正解押し順）を報知可能な報知手段（ナビ報知）と、

前記報知手段（ナビ報知）により遊技者にとって有利な前記導出操作手段の操作態様（正解押し順）を報知させることが可能な有利区間に制御する有利区間制御手段と、

前記有利区間に制御されている旨を示唆する有利区間示唆（有利区間報知）を実行可能な有利区間示唆手段（メイン制御部４１）と、

前記持越手段により前記特別決定結果が持ち越されている持越状態（内部中）となった旨を示唆する持越状態示唆（通常演出）を実行可能な持越状態示唆手段（サブ制御部９１）と、

を備え、

前記持越状態（内部中）において前記報知手段（ナビ報知）により有利な前記導出操作手段の操作態様（正解押し順）を報知させることが可能であり、当該持越状態において遊技用価値の増減率（メダルの払出率）が適正となるように設計されており、

前記有利区間制御手段は、前記持越手段により前記特別決定結果が持ち越されていない非持越状態（非内部中）及び前記持越状態（内部中）のいずれにおいても前記有利区間に制御可能であり、

前記非持越状態（非内部中）において前記有利区間に制御された場合には前記有利区間示唆（有利区間報知）が実行されないが、前記非持越状態（非内部中）から前記持越状態（内部中）に移行した場合には前記持越状態示唆が実行される

ことを特徴としている。

この特徴によれば、持越状態において遊技用価値の増減率が適正となる一方、非持越状態においては遊技用価値の増減率が非適正となる構成において、遊技用価値の増減率が適正となる持越状態において有利区間に制御された場合には有利区間示唆を実行可能であるが、遊技用価値の増減率が非適正となる非持越状態において有利区間に制御された場合には有利区間示唆を実行しないので、遊技用価値の増減率が適正となる持越状態となるまで遊技店側で遊技を行う状況において不要な示唆が実行されずに済む一方で、非持越状態から持越状態に移行した場合には持越状態示唆が実行されるので、遊技店側で遊技を行う状況において遊技用価値の増減率が適正となる持越状態となったことを特定することができる。